

今回の認知症の人への対応の仕方は、「幻覚」についてお話をしていきたいと思います。



【誰かが狙っている】

なにもない所を指して、「そこに妖怪がいる」「泥棒が狙っている」「子供が座っている」といって騒ぎたてる事があります。本人には見えており、本気で怖がっていますから、「何もいないじゃない」と説得しても納得してくれません。このようなときは、ひとまず別室に退避させるとか、「私がいるから大丈夫ですよ」など安心感を与える言葉を掛けて下さい。説得よりも、まずは安心感を抱かせる事が大切です。ただし、このような症状が出て強く混乱する、何日も症状が続くようでしたら、早めに専門医を受診し、お薬を処方してもらったり、生活指導を受けたりするのが良いでしょう。



※介護についてお困りのことがあれば、九十九園までご連絡ください。

医務から 看護師 中西 めぐみ



春を元気に過ごすために



春は暖かくなり過ごしやすい季節ですが、朝晩の冷え込みや気温の変化で体調を崩しやすい時期でもあります。無理せず、体をいたわりながら過ごしましょう。

気をつけたいポイント

- ①寒暖差に注意
脱ぎ着しやすい服装で体温調節をしましょう。
- ②こまめな水分補給
のどが乾いていなくても、少しずつ水分をとることが大切です。
- ③転倒予防
外出や活動が増える季節です。足元に気を付けて、ゆっくり動きましょ。
●かかと上げ運動や足踏み運動がおすすめです。

春の陽気に誘われて外に出る機会も増えます。無理のない範囲で体を動かし、気分転換もしながら、元気に春を楽しみましょう。

2026 春号



九十九園だより

社会福祉法人 幸生福祉会 九十九園 〒610-0343 京都府京田辺市大住池平99番地1 TEL.0774-63-0804 FAX.0774-62-7534

ごあいさつ

「微笑みは人の心に幸せを生む」

春風のさわやかな季節を迎え、入学式や入社式をはじめ人事異動や転勤などで、社会的な環境が変わる新年度が始まりました。新しい環境での生活や仕事、人間関係に慣れるまでは、誰でも少なからずストレスを抱える事があると思います。気分を一新できる春は、新しい自分に生まれ変わるチャンスでもあるので、資格所得を目指した学習や自身の技術や能力を向上させるスキルアップを図るのも良いのではないのでしょうか。人間関係をはじめ私たちが生活を送る中では、つつい周囲に流されがちになってしまいますが、しっかり自分と向き合う時間をつくり、環境がどんな変化をしても自分自身を見失わないで、新たなチャレンジをして欲しいと思います。人は明るければ道が開けることもあり、笑顔と笑いのある場所には必ず成功のチャンスを生んでくれると思うので、今年度も微笑みや幸せを感じられる心を大切に、質の高いサービスを継続して提供できるよう、職員一同と共に歩んで参りたいと存じます。

施設長 大本 顕

「九十九園だより」は下記アドレスのホームページでもご覧になれます。

<http://www.tsukumo-en.or.jp>